

|| 企業調査レポート ||

ウェルネス・コミュニケーションズ

366A 東証グロース

[企業情報はこちら >>>](#)

2026 年 8 月 26 日（水）

執筆：フィスコアナリスト

山本泰三

FISCO Ltd. Analyst Taizo Yamamoto



FISCO Ltd.
<https://www.fisco.co.jp>

ウェルネスC Research Memo : 1Q の純利益は前年同期比 2 倍超、進捗好調

ウェルネス・コミュニケーションズ<366A>は、企業向けの健康診断データの収集・管理・分析を一元化するクラウドサービスを中核に、健康管理 BPO、健康診断機関ネットワーク運営、特定保健指導などを展開するヘルスケア DX 企業である。全国 2,200 以上の医療機関と連携した独自のデータ接続基盤を強みに、企業の健康管理業務の効率化を支援するとともに、人的資本経営や法令対応に資するサービスを提供している。近年は、中堅・中小企業向けサービスの拡充や、健康データを活用した付加価値サービスの開発を進めており、組織と従業員のウェルビーイングを支える AI プラットフォームへの進化に向けた投資を加速させている。2025 年 6 月 23 日に東京証券取引所グロース市場へ上場した。

1. 2026 年 3 月期の業績概要

2026 年 3 月期の連結業績は、主力事業の拡大により売上高 14,778 百万円（前期単体実績比 ※5.1%増）、営業利益 1,186 百万円（同 6.9%増）、親会社株主に帰属する当期純利益 822 百万円（同 5.9%増）と、9 期連続の増収増益、8 期連続の過去最高益を達成した。中長期を見据えたシステム投資や人件費、M&A など積極的な成長戦略投資を実行しつつも、基礎収益力の向上や AI 活用等による生産性向上が寄与し、着実な成長を遂げた。セグメント別では、健康管理クラウド事業が導入企業拡大により売上高 23.7%増と大幅伸長し、健診ソリューション事業も新規獲得やコスト削減により営業利益 29.6%増と大幅な増益を記録した。

※ 2026 年 3 月期は連結初年度のため、前期比較は前期単体実績との比較である。

2. 2027 年 3 月期業績見通し

2027 年 3 月期の連結業績は、売上高 17,500 百万円（前期比 18.4%増）、営業利益 1,600 百万円（同 34.9%増）、親会社株主に帰属する当期純利益 1,150 百万円（同 40.0%増）を計画している。2 ケタ増収・各利益段階で 30%以上の成長を予想しており、前期に続き過去最高益を更新する見込みである。大企業市場の深耕や中小開拓、SaaS 型健康管理クラウドサービス「Growbase」の価格改定（約 1.7 億円のプラス効果）と新プラン投入、買収した（株）あしたのチームの業績寄与などがけん引する。また、データと AI を中核とするプラットフォーム企業への変革に向けて、事業を「ソリューション事業」と「クラウド事業」に再編した。各

事業の強みを生かし、付加価値の向上と強固なストック収益基盤の構築により、持続的成長を図る方針である。

8 月 14 日に発表された第 1 四半期決算は、売上高で前年同期比 30%増の 3,243 百万円、営業利益で同 74%増の 208 百万円と好調な滑り出しとなった（通期予想に対する 1Q 達成率は、売上高で前年同期の 16.9%に対して今期 18.5%、営業利益で 10.1%が 13.0%）。大企業での利用開始や新規受注が進展していることに加え、サービス拡充および価格改定も進捗している。価格改定については 82%が合意済み（3 月末比 12pt 増）であり、契約更新のタイミングで適用が進むが故に段階的に下半期に業績寄与が積み上がる。また、子会社化したあしたのチームの PMI も着実に遂行し、さらなる M&A のパイプラインも拡充中だ。

3. 成長戦略

同社は、労働人口減少に伴う健康管理・人的資本経営の課題の深刻化を背景に、ウェルビーイング・データを活用する AI プラットフォーム企業への進化を目指している。中核施策として、「Growbase」のプラットフォーム化を推進し、AI を活用した予測分析機能などの提供を構想している。大企業向けには価格改定やアップセルを通じた単価向上を図り、中堅・中小企業向けにはあしたのチームとの連携や新サービス「おまかせ健康管理」により開拓を加速する。さらに、AI-OCR（Optical Character Recognition）※などを活用した健康診断結果データ化業務の効率化により 3 年間で外注費 50%削減を目指すとともに、あしたのチームの PMI 推進や、M&A を含む事業開発やプロダクト開発の専門人材の強化を通じ、非連続的な成長を支える経営体制を構築する。

※ AI 技術を活用した光学文字認識機能。

4. 株主還元

同社は株主への還元を重要戦略として、配当原資確保のための収益力を強化し、継続的かつ安定的な配当を行うことを基本方針としている。2026 年 2 月に累進配当を導入し、中長期的かつ安定的な配当姿勢を明確化した。2026 年 3 月期の 1 株当たり配当金は前期比 13.0 円増の 34.4 円となり、2027 年 3 月期は 40.0 円を予定している。また、投資単位への配慮から 2026 年 2 月に株式分割（1 株→2 株）を実施したほか、同年 5 月には自己株式取得を可能とする定款変更を取締役会で決議し、6 月の株主総会で承認可決された。成長投資を継続しつ

つ、利益成長を背景とした増配や機動的な資本政策の整備を通じて、株主還元の選択肢を広げている。

5. 株価

高い要求水準が求められる大企業に対してもほぼノーカスタマイズで導入可能な設計と、健康管理の知見を活かした充実のサポート体制が、同社の高い競争優位性である。弊社では 6 月 5 日付けで、同社のレーティング「Buy」、目標株価を 3,165 円としており、その見方に変化はない。一般的に紙で返却される健診結果を統一様式に整え、素早く健康管理に活用できる状態にする独自技術とオペレーション体制を持っており、高い利益成長が望める状況となってきた点を評価している。大企業市場でのアップセル戦略を加速させ、高付加価値サービスの提供による単価向上の浸透も継続しよう。さらに、メンタルヘルス支援、e ラーニング、組織分析、産業医・保健師の紹介によるカウンセリング、健康相談といった周辺領域への拡大が見込まれ、TAM は極めて大きい。既に土台となるプラットフォームはできあがっており、解約率が極めて低く、顧客基盤も強い。付加サービスが M&A で加わってくれば、株価のアップサイド要因になり得る。グロースでありながら、配当は今期予想でも 3.55% の利回りであり、利益成長に応じて 8% を上回る可能性もある。

■ Key Points

- ・ 2026 年 3 月期業績は主力 2 事業の拡大が積極的な成長投資を吸収し、9 期連続増収増益、8 期連続最高益を達成
- ・ 2027 年 3 月期は価格改定、AI 活用、M&A 寄与を背景に 2 ケタ増収・30% 以上の大幅増益を見込む
- ・ 「Growbase」のプラットフォーム化を軸に、ウェルビーイング・データを活用する AI プラットフォーム企業への進化を進める
- ・ レーティング「Buy」、目標株価を 3,165 円

ディスクレーマー(免責事項)

株式会社フィスコ(以下「フィスコ」という)は株価情報および指数情報の利用について東京証券取引所・大阪取引所・日本経済新聞社の承諾のもと提供しています。本レポートは、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行為および行動を勧誘するものではありません。

本レポートはフィスコが信頼できると判断した情報をもとにフィスコが作成・表示したのですが、フィスコは本レポートの内容および当該情報の正確性、完全性、的確性、信頼性等について、いかなる保証をするものではありません。

本レポートは、対象となる企業の依頼に基づき、企業への電話取材等を通じて当該企業より情報提供を受け、企業から報酬を受け取って作成されています。本レポートに含まれる仮説や結論その他全ての内容はフィスコの分析によるものです。

本レポートに掲載されている発行体の有価証券、通貨、商品、有価証券その他の金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情勢などの影響により、その価値を増大または減少することもあり、価値を失う場合があります。本レポートは将来のいかなる結果をお約束するものでもありません。お客様が本レポートおよび本レポートに記載の情報をいかなる目的で使用する場合においても、お客様の判断と責任において使用するものであり、使用の結果として、お客様になんらかの損害が発生した場合でも、フィスコは、理由のいかんを問わず、いかなる責任も負いません。

また、本レポートに掲載されている発行体と当社（IR コンサル部）は現在または将来において、（アナリストレポートの作成や動画配信、IR コンサルティングサービスなどの）有償の取引を行っている/行う場合がございます。

本レポートに記載された内容は、本レポート作成時点におけるものであり、予告なく変更される場合があります。フィスコは本レポートを更新する義務を負いません。本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はフィスコに帰属し、フィスコに無断で本レポートおよびその複製物を修正・加工、複製、送信、配布等することは堅く禁じられています。

フィスコおよび関連会社ならびにそれらの取締役、役員、従業員は、本レポートに掲載されている金融商品または発行体の証券について、売買等の取引、保有を行っているまたは行う場合があります。

以上の点をご了承の上、ご利用ください。

■お問い合わせ■

〒107-0062 東京都港区南青山 5-13-3

株式会社フィスコ

電話：03-5774-2443（IR コンサルティング事業本部）

メールアドレス：support@fisco.co.jp